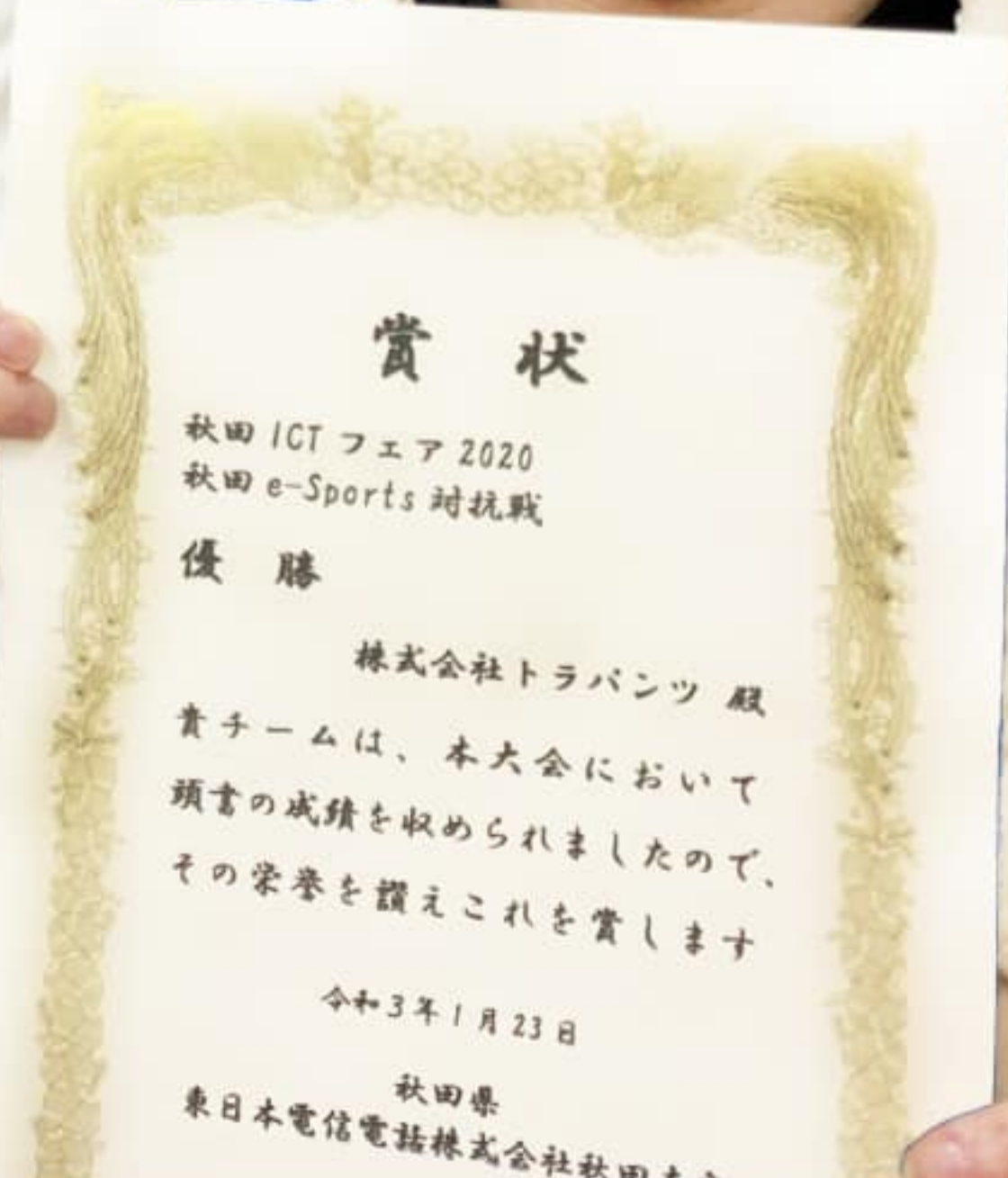


初代e-Sports対抗戦

ストリートファイターV企業対抗戦



キャラクターで魅せるトラパンツ愛

令和3年1月20日～1月26日、ICT関連企業が集まって先進技術に関する展示やセミナーなどを行う「秋田ICTフェア2020」がオンラインで開催された。その中のイベント「秋田e-Sports対抗戦ストリートファイターV企業対抗戦」にて激戦を勝ち抜き、我が「トラパンツ」チームが見事優勝を果たした。そこで、今回出場した選手(伊東祐哉さん、高津知明さん、加藤大貴さん)にお話を伺った。

優勝した感想はいかがですか？
伊東さん(以下伊)「嬉しかったですね。今回対戦形式が特殊で、勝ち抜き式ではなく、先鋒、中堅、大将の順番に一人ずつ対戦するという形式でした。その分個々の力が重要で、一人で勝ちにいけるのではなくチームとして戦い抜き、結果勝つことができました」

加藤さん(以下加)「素直に嬉しいです。出場企業さんも幅広く、自分は急遽出場が決まったため練習期間も二週間と短かったのですが、楽しかったです。個人では結果は残せなかったのですが、チームとして優勝という結果を残せてよかったです」
高津さん(以下高)「今回、対戦のシステムが先鋒が一点、中堅が一点、大将が二点という仕組みで、大将が重要なポジションにいましたね。大将は、やはり強い方が多かったのですが、祐哉さんが頭一つ飛び抜けていた印象があります」

伊「MVPはどなたでしょう？」
高「高津さん。基本、勝つためにキャラクターを固定して戦うことが多いのですが、キャラクターが虎柄のコスチュームであったり、パンツを履いていたりと、彼は自社のアピールに視点を置いて選択をしていたところがすごいトラパンツっぽくて面白かった。相手側では、NTTドコモの佐藤さんです。キャラの動きといい、格闘ゲームをやっている感じがしましたね」
加「単純にゲーム視点で見ると祐哉さんかな。今回一戦も負けていなかったんです。あと、実況席の方々ですね。対戦をわかりやすく説明してくれて、高津さんのネタも拾ってくれたので(笑)」
高「大貴さん。祐哉さんは元々強かったんですが、大貴さんは直前に練習を始め、本大会に初心者の状態でいきなり大会に出たので。対戦もかなり惜しかったと思います。あと、実況の二人(ジレミーさん、レモンさん)も。一戦目です

分のネタに気づいてもらえたので。マティログさんには、最初残念ながら気付いてもらえませんでした。……」
「今回の見どころはどこですか？」
伊「弊社の長谷川社長に対して熱いメッセージを送っているの、各対戦のインタビュ部分など、全体的にぜひ見てもらいたいです(笑)」

加「一戦目の自分の対戦です。三回戦った中で一番接戦していたので」
高津さん「一戦目ですね。実況の方々もネタに気付いてもらえたのが嬉しい。最初に気付いてもらえると、次戦う相手も探してくれたりするので、見ている側も面白いんじゃないかなと」

「次の「秋田e-Sports対抗戦」に向けて、一言お願いします。」
伊「eスポーツは自分もしたり、動画を見たりしていますが、史上初の音楽ゲームから誕生したプログラマーが東北出身の方だったり、地域に関係なく活躍ができるスポーツではないかなと思っています。オンラインが発達している世の中ですし、東北ないしは北東北エリアだけでも、徐々にeスポーツの活動範囲が広がってほしいと思います」
加「今までやったことのないジャンルだったけど、がっつり練習して、こうして対戦できて楽しかったです。もっと練習して、次戦う時はチームに貢献したいです。また、遊んだことがないゲームも、こういう機会がないと触れられないな、と思うので、貴重な経験ができました」
高「いろんなネタを考えておきます。eスポーツも盛り上がりつつあります。いなあ。海外だと優勝すれば賞金が出たりしますが、日本だと法律上中々難しく……普通のスポーツ選手のように、プロゲーマーも専業でできればいいですね」

インタビュに快く答えていただいた選手に感謝するとともに、今回の秋田ICTフェア2020によって、秋田だけでなく、東北のeスポーツ界隈がさらに上がることを期待している。



あの、熱い戦いをもう一度。
白熱したe-Sports対抗戦はもちろん、秋田ICTフェア2020の配信内容は全て公式youtubeのアーカイブからご覧いただけます！
オンラインイベントの運営はぜひトラパンツにお任せください！
秋田ICTフェア2020特設サイト <https://common3.pref.akita.lg.jp/ictfair2020/>
秋田ICTフェア2020公式youtube <https://www.youtube.com/channel/UCaV2ipgK1efueOEUh4NY0A>